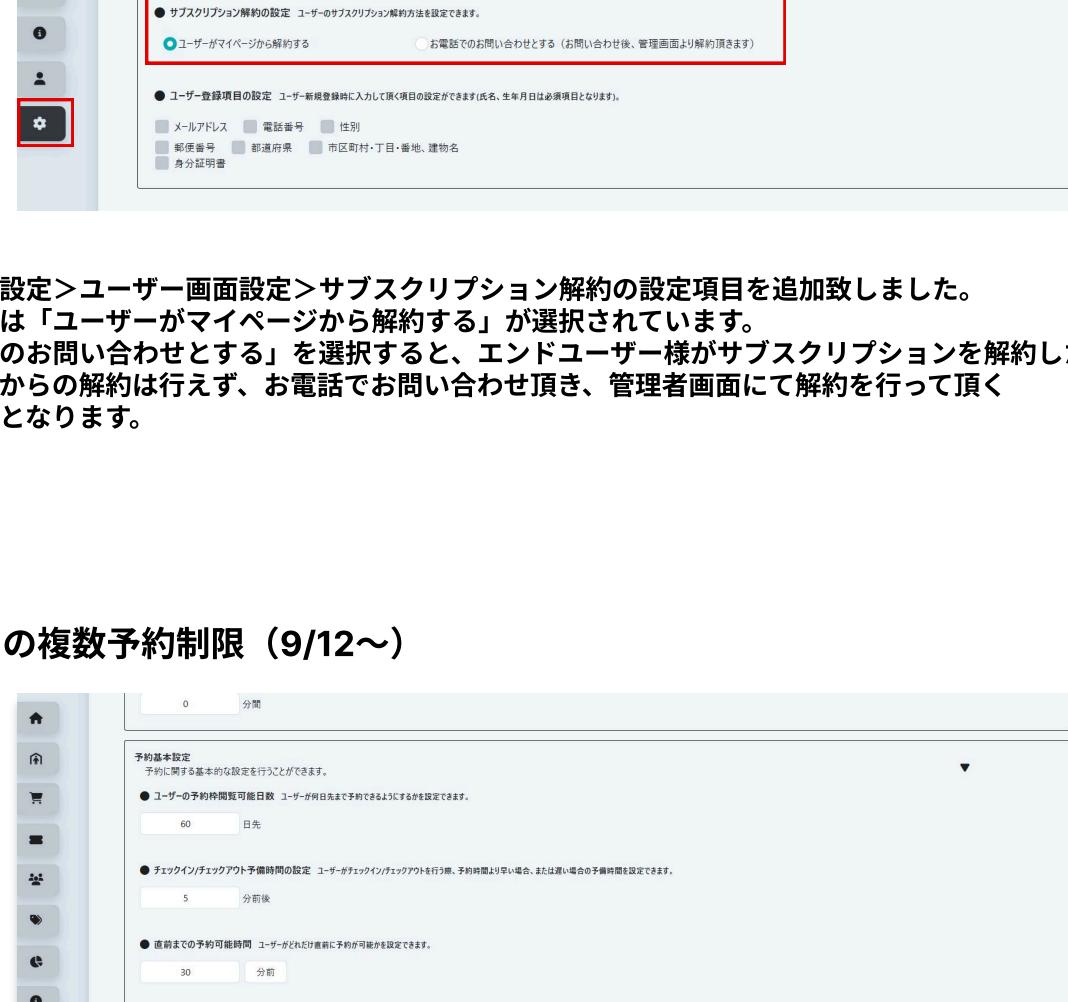


Smaowell アップデート項目 (v2.3)

1. サブスクリプション解約の設定 (9/1~)

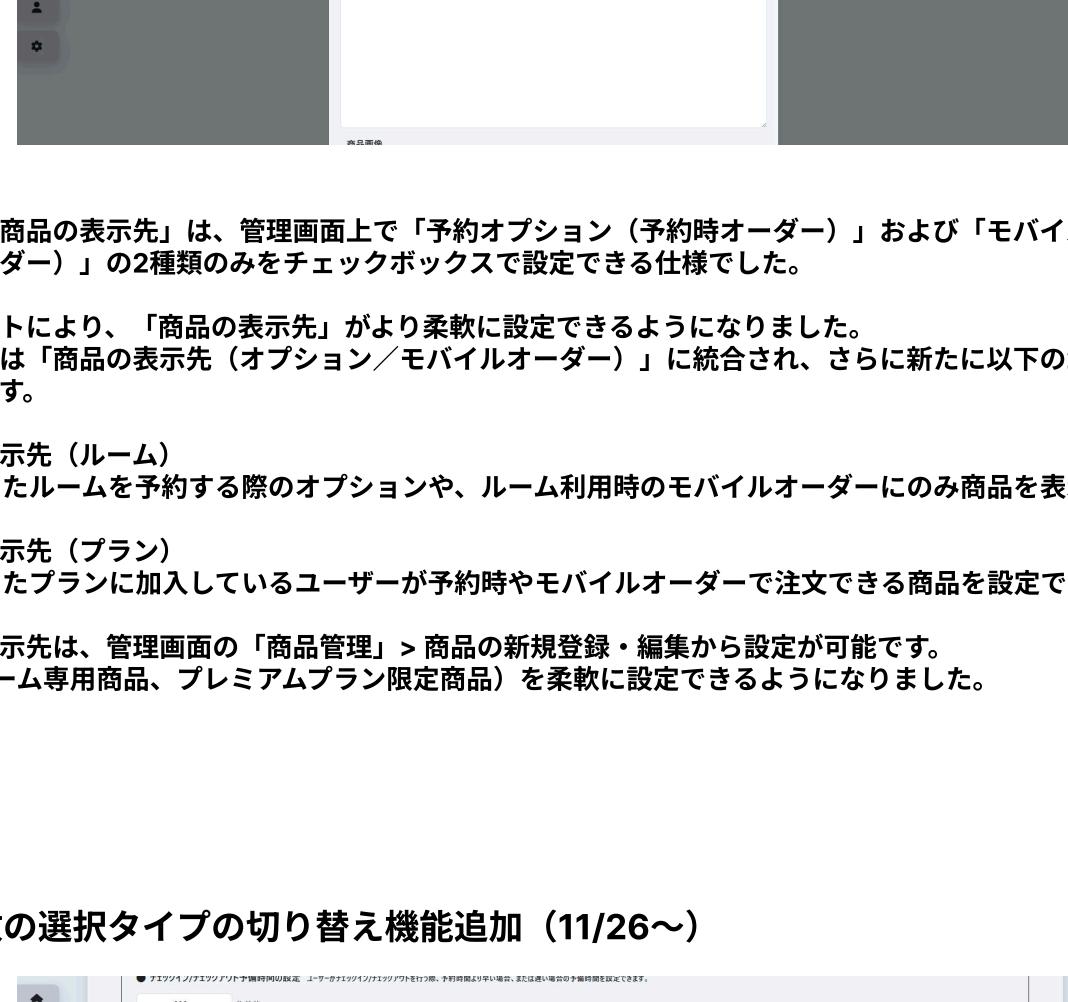


管理画面の設定>ユーザー画面設定>サブスクリプション解約の設定項目を追加致しました。

デフォルトは「ユーザーがマイページから解約する」が選択されています。

「お電話でのお問い合わせとする」を選択すると、エンドユーザー様がサブスクリプションを解約したい場合、マイページからの解約は行えず、お電話でお問い合わせ頂き、管理者画面にて解約を行って頂く運用が可能となります。

2. ユーザーの複数予約制限 (9/12~)



管理画面の設定>予約基本設定>ユーザーの複数予約制限項目を追加致しました。
こちらをONにすると、エンドユーザー様は連続で予約を取ることができなくなり、
予約枠の独占を防ぐ事ができます。

3. 商品の表示先を管理画面で管理する機能追加 (11/26~)



これまで「商品の表示先」は、管理画面上で「予約オプション（予約時オーダー）」および「モバイルオーダー（店内オーダー）」の2種類のみをチェックボックスで設定できる仕様でした。

アップデートにより、「商品の表示先」がより柔軟に設定できるようになりました。

従来の項目は「商品の表示先（オプション／モバイルオーダー）」に統合され、さらに新たに以下の2項目が追加されています。

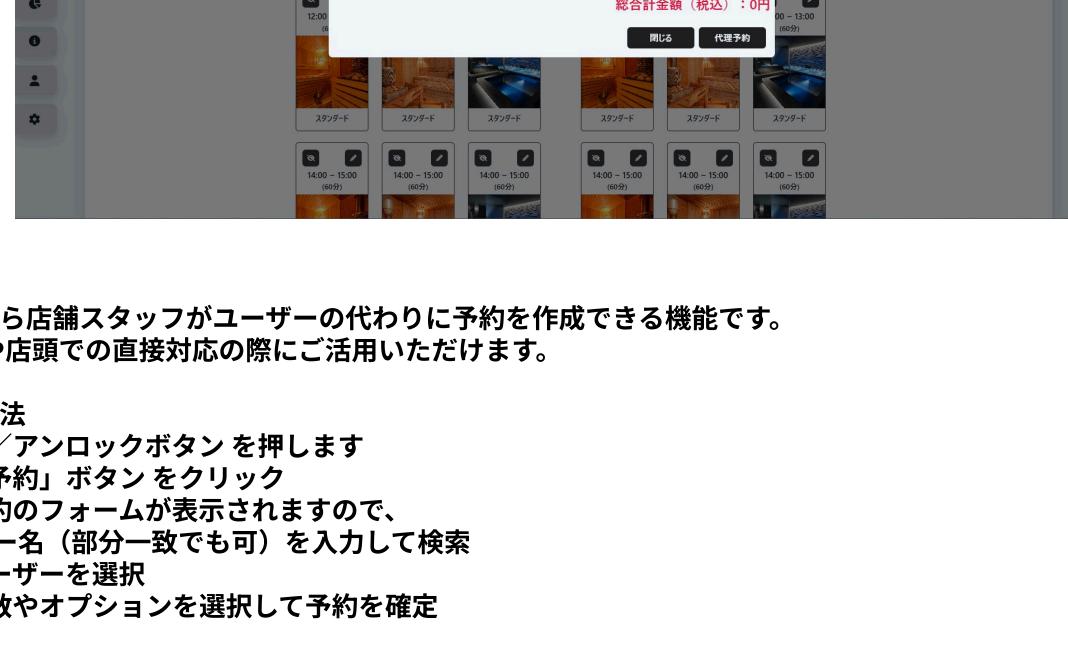
・商品の表示先（ルーム）
→選択したルームを予約する際のオプションや、ルーム利用時のモバイルオーダーにのみ商品を表示できます。

・商品の表示先（プラン）
→選択したプランに加入しているユーザーが予約時やモバイルオーダーで注文できる商品を設定できます。

これらの表示先は、管理画面の「商品管理」>商品の新規登録・編集から設定が可能です。

例：VIPルーム専用商品、プレミアムプラン限定商品）を柔軟に設定できるようになりました。

4. 利用人数の選択タイプの切り替え機能追加 (11/26~)



管理画面の「設定」>「予約基本設定」に新たに「利用人数の選択タイプ」項目を追加しました。

従来は、予約時にユーザーが「男性人数」と「女性人数」をそれぞれ入力する仕様でしたが、この新機能により、予約時の人数入力形式を以下の3つから選択できるようになりました。

・男女別の人数（従来仕様）
→「男性人数」「女性人数」をそれぞれ入力。

・合計利用人数のみ
→合計人数のみを入力。性別を分ける必要がありません。

・人数選択なし（1名固定）
→利用人数を固定し、入力 자체を不要にします。

5. ロック・休日の表示切り替え機能を追加しました *〇×カレンダーのみ (11/26~)



これまで「商品の表示先」は、管理画面上で「予約オプション（予約時オーダー）」および「モバイルオーダー（店内オーダー）」の2種類のみをチェックボックスで設定できる仕様でした。

これまでは、予約済み時間とロックされた時間、休日がいずれもユーザー画面上で「×」と表示される仕様となっていました。

今回の変更により、以下のように表示が区別されます。

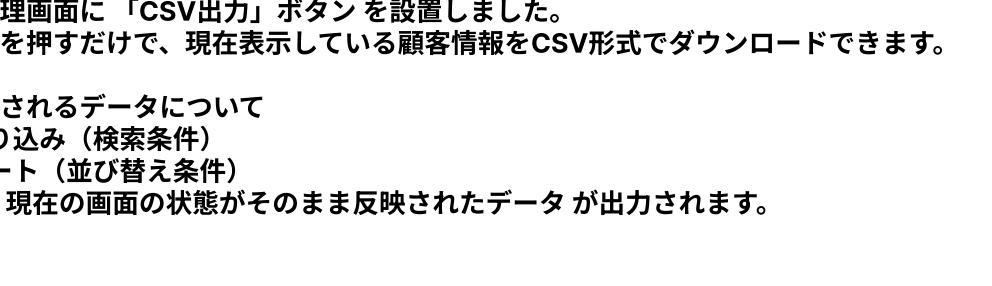
・予約済み時間 : ×（従来通り）
・ロックされた時間 : —（ハイフン）

管理画面の「設定」>「ロック・休日の表示」にて表示切り替えの設定が可能です。

・ONにすると：ロックした枠および休日の時間が「×」から「—」に表示変更されます。

・OFFにすると：従来通り、すべて「×」で表示されます。

6. 代理予約機能を追加しました (11/26~)



管理画面から店舗スタッフがユーザーの代わりに予約を作成できる機能です。

電話予約や店頭での直接対応の際にご活用いただけます。

・ご利用方法
1. ロック／アンロックボタンを押します
2. 「代理予約」ボタンをクリック
3. 代理予約のフォームが表示されますので、ユーザー名（部分一致でも可）を入力して検索

4. 対象ユーザーを選択

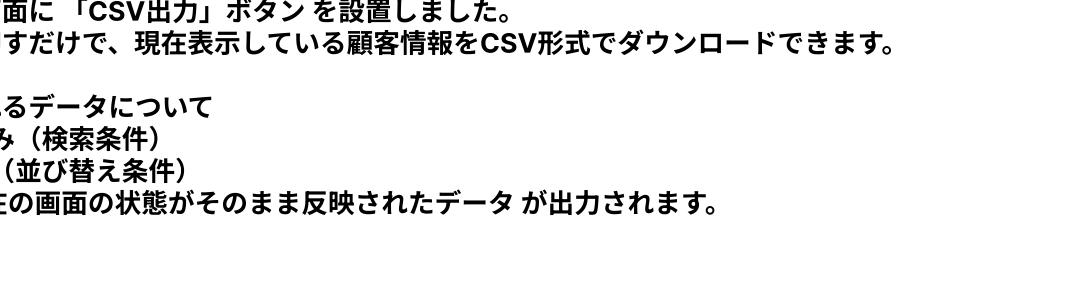
5. 利用人数やオプションを選択して予約を確定

・ユーザーへの通知
代理予約が完了すると、対象ユーザーにLINEメッセージでお知らせが送られます。

・決済について
本機能ではオンライン決済は行われません。

ご来店時に店舗にて決済をお願いします。

7. 顧客情報のCSV出力機能を追加 (11/26~)



顧客管理画面に「CSV出力」ボタンを設置しました。

ボタンを押すだけで、現在表示している顧客情報をCSV形式でダウンロードできます。

・出力されるデータについて

1. 納り込み（検索条件）

2. ソート（並び替え条件）

これら現在の画面の状態がそのまま反映されたデータが出力されます。